

水分計とプリンタの接続方法

1. はじめに

本書は、水分計とミニプリンタ AD-8126 またはサーマルプリンタ AD-8129TH を接続する際の、使用例と設定について記載したものです。

水分計とプリンタの設定変更方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

2. 適用機種

- 加熱乾燥式水分計：MS-70、MX-50、MF-50、ML-50

3. 使用例と設定

使用例 1

測定条件を含めた測定結果を印字する場合。

水分計側				プリンタ側	
データ出力方法 Prt	出力データの選択 S-d	データ出力間隔 PUSE	GLP 出力 inFo	印字モード設定	
0 または 1	0	0	1 または 2	AD-8126	AD-8129TH
				設定不要	DUMP

使用例 2

測定結果を印字（統計演算）する場合。

水分計側				プリンタ側	
データ出力方法 Prt	出力データの選択 S-d	データ出力間隔 PUSE	GLP 出力 inFo	印字モード設定	
0 または 1	0	0	0	AD-8126	AD-8129TH
				設定不要 ※	EXT.KEY

※ AD-8126 では統計演算結果は印字できません。

使用例 3

水分率の変化を印字する場合。

水分計側				プリンタ側	
データ出力方法 Prt	出力データの選択 S-d	データ出力間隔 PUSE	GLP 出力 inFo	印字モード設定	
2	0	0	0	AD-8126	AD-8129TH
				設定不要 ※	TIMER

※ AD-8126 にはタイマーモード（インターバルモード）はありません
 （水分計が水分率を出力するタイミングで印字されます）

使用例 4

GLP/GMP/ISO 対応の印字を行う場合。

水分計側				プリンタ側	
データ出力方法 Prt	出力データの選択 S-d	データ出力間隔 PUSE	GLP 出力 inFo	印字モード設定	
0、1、2 のいずれか	0	0	1 または 2	AD-8126	AD-8129TH
				設定不要	DUMP